

ヒメクリニック PRP 2.0 ガイドブック

作成：ヒメクリニック 院長 武藤ひめ

このガイドブックは、皮膚再生医療とPRP治療について、患者さまとご家族に正しくご理解いただくために作成しました。医療の透明性と安全性を第一に、科学的根拠に基づいた情報をお届けします。

目次

01

はじめに

私たちが「皮膚再生医療」にこだわる理由

03

皮膚再生医療とは

肌質改善の新しいアプローチ

05

上清液・エクソソームとの違い

厚労省の注意喚起を含む

01

料金・プラン内容

60万円／2回治療＋診察一式

03

適応症状と期待できる変化

しわ・たるみ・薄毛など

05

よくあるご質問

Q&A形式でわかりやすく

02

再生医療とは

制度・安全管理を含む

04

PRPとは

歴史と仕組み

06

ヒメクリニクの PRP 2.0

特長・加工体制・強み

02

診療の流れ

初診から効果確認まで

04

安全性・リスク

ダウンタイムと合併症

06

用語解説

専門用語をやさしく説明

はじめに — 私たちが「皮膚再生医療」にこだわる理由

ヒメクリニックはPRP（多血小板血漿）を中心とした皮膚再生医療に特化しています。



周産期医療・新生児医療の経験

長く携わり、生命維持の現場で組織再生の重要性を学びました。



救急医療での組織再生の視点

「皮膚をいかにつくらせるか」という視点から組織再生の重要性を学びました。



美容医療での自己治癒力活用

「自分の治癒力を引き出す」安全で納得感の高い治療に生かしています。

私たちは、単に見た目を変えるだけではなく、患者さまご自身の力で肌を再生させることを目指しています。



安全性の重視

医療は常に進化していますが、その中心には「安全性」がなければなりません。



科学的根拠に基づく治療

医療は常に進化していますが、その中心には「科学的根拠」がなければなりません。



透明性の高い医療

当院は法令を遵守し、透明性の高い医療を提供することをお約束します。





再生医療とは（制度・安全管理を含む）

再生医療は、傷んだ組織・機能を修復・再生させることを目的とした医療です。日本では再生医療等の安全性の確保等に関する法律（通称：再生医療等安全性確保法）により、以下の重要なポイントが厳格に定められています。



安全管理と提供体制の厳格な定め



認定再生医療等委員会の審査



厚生労働大臣への提供計画提出

これらの仕組みは、患者さまの安全を守るための重要なものです。

PRPの分類：第三種再生医療

PRPは一般に第三種再生医療に分類され、上記の審査と届出を経て実施されます。

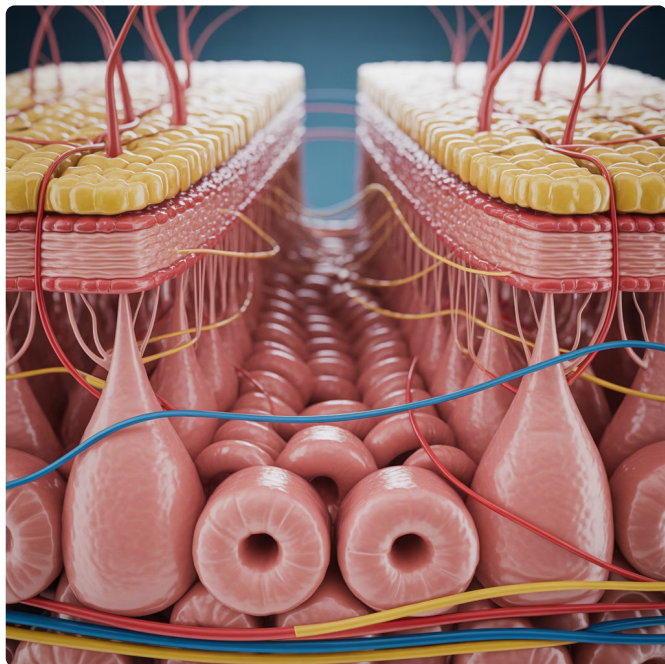
当院の認証

当院は第三種再生医療の提供機関であり、提供計画番号：PC4230007として適切に手続きを行い、審査・届出に基づいてPRP治療を提供しています。

□ 用語解説

- **第三種再生医療**：リスクが比較的低いとされる再生医療。PRPなど。
- **認定再生医療等委員会**：外部有識者による倫理・科学的妥当性の審査組織。
- **提供計画番号**：厚労省に提出・受理された再生医療計画の識別番号。

皮膚再生医療とは



美容皮膚科領域で、肌そのものを作り直す力を高めて質的に若返らせることを目指す治療の総称です。

肌の構造そのものを改善していくアプローチで、一時的な変化ではなく、持続的な効果を期待できます。



肌を作り直す力を高める

肌そのものの再生能力を活性化させます。



コラーゲン・エラスチン産生を促進

肌のハリと弾力の元となる成分を増やします。



血管新生を促し肌質を改善

栄養供給を高め、肌全体の質感を底上げします。

対症療法との違い

対症療法

ヒアルロン酸やボトックスなど、「形を足す／動きを抑える」対症的なアプローチ。

一時的な変化であり、効果は限定的。

皮膚再生医療

コラーゲン・エラスチン産生や血管新生を促し、肌質・質感の底上げを図る根本的なアプローチ。

肌の構造そのものを改善し、持続的な効果を目指します。



対症療法との違い

表面的な改善ではなく、皮膚組織の根本的な再構築を目指します。



自己治癒力の活性化

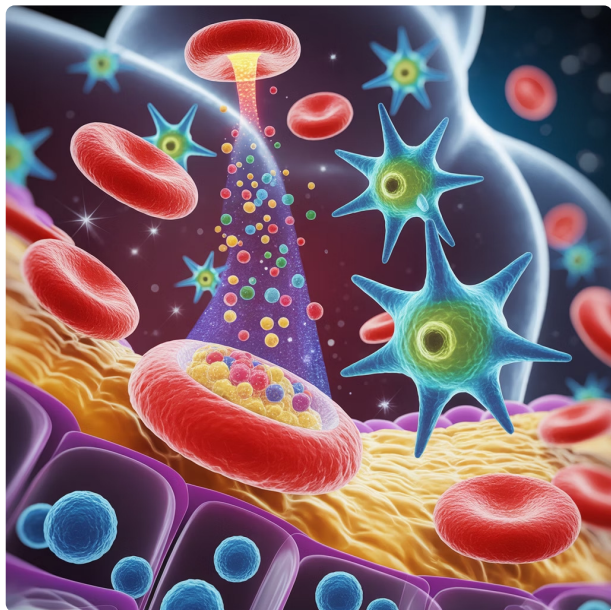
ご自身の細胞が持つ修復能力を最大限に引き出します。



持続的な効果

一時的ではなく、組織レベルでの長期的な改善を図ります。

PRPとは／歴史と仕組み



PRP（多血小板血漿）は、自分の血液を採血して遠心分離し、血小板を高濃度に含む血漿を抽出したものです。血小板は傷の修復時に**成長因子**を放出し、線維芽細胞の活性化・コラーゲン産生・微小循環の改善を促します。

放出される主な成長因子:

- **PDGF** (血小板由来成長因子)
- **VEGF** (血管内皮細胞増殖因子)
- **TGF- β** (トランスフォーミング増殖因子- β)



採血

患者さまご自身の血液を採取します。



遠心分離

血小板を高濃度に濃縮します。



注入

治療部位に精密に注入します。



再生

成長因子が組織再生を促進します。

PRPの歴史と応用分野



臨床応用のはじまり

歯科・整形外科領域から臨床応用が広まりました。



美容医療への展開

現在では皮膚の若返りや薄毛治療などでも用いられています。



世界的な研究と実績

世界中で研究が進み、その安全性と有効性が確認されてきた治療法です。

用語解説

- **成長因子**: 細胞の増殖・修復を助けるタンパク質。
- **線維芽細胞**: 真皮でコラーゲン等を作る主要細胞。
- **微小循環**: 毛細血管レベルの血流。栄養・酸素供給を担う。

HEALTHY CELL

CINEIVIEUTIOMC LILLNES



DISEASED CELL

CNFFEUTIONC MLNESS

上清液・エクソソームと PRPの違い 素材の違い

PRP

患者さまご自身の血液由来（自己由来）。アレルギーや拒絶反応のリスクが極めて低い安全な治療法です。

幹細胞培養上清液

他者由来の幹細胞を培養した際の上澄み（細胞を含まない液）に含まれる成分を用いる治療。

エクソソーム

細胞が分泌する細胞外小胞（EV）の一種で、上清液中にも含まれ得る微小な小胞。

厚労省からの重要なお知らせ（患者さま必読）

エクソソーム等について、現時点で有効性・安全性が示され薬事承認を得た医薬品は存在しない旨が、厚生労働省から周知（事務連絡：2024年7月31日）されています。

自由診療で用いる場合は、実施医師の責任のもと安全性に特に留意するよう求められています。また、「エクソソーム試薬」と称して医療機関向けに販売される製品について、治療等に用いる目的の医薬品として承認を受けておらず、効能効果を標ぼう・暗示する表示は無承認無許可医薬品として指導・取締りの対象となり得る旨が、厚労省（医薬局監視指導・麻薬対策課）から監視指導の事務連絡として示されています（2024年7月31日）。

患者さまへの重要なメッセージ

エクソソーム治療を検討される際は、医療機関が法令を遵守しているか、十分な説明を受けられるか、慎重にご確認ください。承認されていない治療には予期せぬリスクが伴う可能性があります。



当院の方針：安全性と信頼に基づいた再生医療



ヒメクリニックでは、患者さまの健康と安全を最優先とし、**法令・通達に則った適切な再生医療の提供を徹底**しています。当院の具体的な方針は以下の通りです。

- **法令遵守と厳格な管理体制**当院は、厚生労働省が定める「再生医療等安全性確保法」および関連する最新の事務連絡・通知を厳格に遵守しています。特に、未承認医薬品の使用に関する注意喚起には細心の注意を払い、医療提供における法的・倫理的責任を全うしています。
- **エクソソーム製剤不使用の明確な理由**厚生労働省からの注意喚起にもある通り、エクソソーム製剤は現時点で有効性・安全性が確立され、薬事承認を得た医薬品は存在しません。未承認の製剤が「無承認無許可医薬品」として指導・取締りの対象となり得る状況を鑑み、当院では患者さまの安全を最優先し、医療目的でのエクソソーム製剤を用いた治療は一切行っておりません。
- **PRPなど自己由来成分の医学的根拠に基づく採用**当院では、自己由来の多血小板血漿（PRP）など、**科学的根拠が確立され、安全性が確認されている治療法**を積極的に採用しています。これらは患者さまご自身の血液から生成されるため、アレルギー反応や感染リスクが極めて低いという利点があります。国際的な学会ガイダンスも参照し、エビデンスに基づいた治療を提供しています。
- **安全性と再現性を重視した治療プロセス**安全性を確保するため、治療計画の立案から実施、術後の経過観察に至るまで、**標準化されたプロトコルに従って厳格に管理**しています。細胞加工施設の衛生管理、製剤の品質管理、そして患者さまのモニタリング体制を徹底し、常に再現性の高い安全な治療を提供できるよう努めています。
- **透明性と科学的根拠に基づく情報提供**患者さまが安心して治療を選択できるよう、全ての治療について、そのメリット、デメリット、代替治療、費用、そして期待される効果について、**科学的根拠に基づいた透明性の高い情報を提供**します。インフォームドコンセントを徹底し、患者さまご自身が納得して治療に臨めるよう、十分な説明と対話を重視しています。
- **患者さまの信頼に応える取り組み**私たちは、患者さま一人ひとりに寄り添い、丁寧なカウンセリングを通じて個別の症状やニーズに合わせた最適な治療計画を提案します。疑問や不安に真摯に耳を傾け、継続的なサポートとアフターケアを提供することで、患者さまとの信頼関係を築き、持続的な健康維持に貢献します。

□ 用語解説

- **上清液**：培養細胞を取り除いた培養液の上澄み。
- **エクソソーム**：直径30-150nm程度の細胞外小胞。
- **試薬**：研究用途を想定した製品。医薬品ではありません。

ヒメクリニクの PRP 2.0：安心と信頼の再生医療

再生医療を支えるCPC（細胞加工施設）での徹底した品質管理

ヒメクリニクの提供するPRP 2.0は、患者さまの血液を採取した後、外部の専門的なCPC（細胞加工施設）にて厳格な基準のもと加工されます。CPCは、再生医療に用いる細胞や組織を安全かつ効果的に処理するための特殊な施設であり、その具体的な役割は、無菌環境下での細胞分離・濃縮・品質検査を一貫して行うことにあります。これにより、感染リスクを最小限に抑え、治療効果の安定性を最大化することが可能となります。

ロートグループのRCFT：高度な専門性と信頼性

当院は、高い信頼性と先進的な技術を誇るロートグループのCPC「RCFT（Rohto Cell Facility for Regenerative Therapy）」にPRPの加工を委託しています。RCFTは、厚生労働省の「再生医療等安全性確保法」に則り、GMP（Good Manufacturing Practice）基準に準拠したクリーンルーム環境を備えています。高度な空調管理システム、微粒子フィルター、定期的な環境モニタリングにより、空気中の浮遊微粒子や微生物を厳しく管理。また、最新鋭の細胞加工装置と、専門知識を持つ熟練の技術者が、一人ひとりの患者さまのPRP製剤を丁寧に、かつ均一な品質で調製しています。これにより、当院は安定した高品質なPRP製剤の供給を保証し、患者さまに最大限の安心をお届けします。

院内簡易処理との決定的な違いと当院のこだわり

一般的な院内簡易処理では、その場でPRPを抽出するため、濃縮度や不純物（赤血球、白血球など）の管理にばらつきが生じやすいのが現状です。これに対し、RCFTでの加工は、以下の点で優れています。

- **精密な濃縮度管理**：専用の遠心分離機とプロトコルにより、治療に必要な血小板を最適な濃度で正確に濃縮します。これにより、治療効果の最大化が期待できます。
- **徹底した不純物除去**：炎症を引き起こす可能性のある赤血球や特定の白血球（好中球など）を効果的に除去し、PRP製剤の純度を高めます。これにより、副作用のリスクを低減し、より安全な治療を提供します。
- **再現性の高い治療プロセス**：標準化された手順と厳格な品質管理により、どの患者さまに対しても常に均一で安定した品質のPRP製剤が提供され、治療結果のばらつきを最小限に抑え、治療の再現性を飛躍的に高めています。

当院がこのCPC体制を選んだのは、科学的根拠に基づき、患者さまの安全性と治療効果を最優先するためです。再生医療は「安全性」と「有効性」の両立が不可欠であり、RCFTのような専門施設での加工は、その両方を高い水準で保証する医学的根拠のある選択肢であると確信しています。ヒメクリニクは、患者さま一人ひとりの治療が最良の結果をもたらすよう、加工体制からこだわり抜いています。

2ステップ設計の「PRP 2.0」：科学的根拠に基づく最適化治療

ヒメクリニックの「PRP 2.0」は、単なるPRP療法ではなく、患者さまお一人おひとりの皮膚の反応を詳細に分析し、治療効果を最大限に引き出すための科学的根拠に基づいた2ステップ設計を採用しています。このアプローチは、再生医療における細胞反応と組織リモデリングの動的なプロセスを考慮し、一過性の改善ではなく、より持続的で自然な肌質改善を目指します。



1回目の注入で皮膚組織の反応性（腫れ・吸収速度・質感の変化、初期のコラーゲン産生応答など）を注意深く評価し、その結果を基に2回目での注入の深さ、組織層、そして具体的な部位を精密に最適化します。これは、治療の「計画的（プロトコール型）」な進行と「個別化」を両立させ、経験則だけでなく、**医学的な理論的背景に基づき、再生メカニズムの特性を最大限に活用するための当院独自の戦略的アプローチ**です。

他の治療法（1回完結型など）との決定的な違いは、この「評価と調整」のプロセスにあります。1回完結型では、注入後の個体差を考慮した調整が困難ですが、当院の2ステップ設計では、患者さまご自身の生体反応を「次の治療への情報」として活用することで、無駄なく、より効果的で安全な治療を実現します。これにより、**自然な組織再生を促し、効果の持続性と、周囲の組織との調和がとれた自然な仕上がりを両立させることが可能**となります。

1回目注入：基礎的再生の誘発と反応評価

初回治療では、再生の土台を築くためのPRPを注入します。この段階で特に注目ののは、以下の具体的な評価項目です：

- **腫れ**：注入後の炎症反応や組織液の貯留の程度とその持続期間を評価します。
- **吸収**：注入されたPRPが組織にどの程度の速度で、どのように吸収されているかを観察します。これは組織の代謝活性を示す重要な指標です。
- **質感の変化**：初期のコラーゲン産生や細胞外マトリックスの変化によってもたらされる肌のハリ、弾力、滑らかさの初期変化を評価します。

これらの情報が、2回目注入の計画に不可欠なデータとなります。

2回目注入：完成度を高める精密調整

1回目の評価結果に基づき、2回目の注入では以下の要素を微調整し、治療の完成度を最大限に高めます。

- **深さの調整**：初回で反応が鈍かった層や、より深いコラーゲン産生を促したい場合に注入深度を変更します。
- **層の調整**：真皮の浅層、中層、深層、または皮下組織といった特定の層に焦点を当てて注入することで、狙った効果を強化します。
- **部位の調整**：個別の改善度合いに応じて、特に改善が必要な部位や、左右差の調整、さらなるボリュームアップが必要な領域に集中的に注入します。

この個別最適化により、初回では到達しなかった、より自然でバランスの取れた再生を実現します。

1

2

3

4

経過観察期間：精密な評価と2回目計画の最適化

数週間（通常4～6週間）の経過観察期間では、1回目注入後の組織の変化を詳細に評価します。具体的な観察ポイントと評価方法は以下の通りです：

- **患者さまからのフィードバック**：ご自身の感覚（痛み、違和感、肌質の変化など）を詳細にヒアリングします。
- **視診・触診**：医師が直接、肌のハリ、弾力、凹凸、色素沈着などの変化を客観的に評価します。
- **画像診断**：必要に応じて、注入部位の組織内部の変化を客観的に評価するための画像記録を行います。

これらの多角的な評価により、2回目の治療戦略を最適化し、より個別化されたアプローチを策定します。

効果の完成：持続性と自然さの実現

2回目の精密な調整を経て、PRP 2.0の治療プロセスは最終段階へと向かいます。この計画的な2ステップ設計により、以下の効果が完成されます。

- **持続的な肌質改善**：段階的な再生プロセスが組織に安定した変化をもたらし、効果の長期的な維持を可能にします。
- **極めて自然な仕上がり**：個々の肌の反応に合わせた調整により、不自然な膨らみや過剰な変化を避け、ご自身の組織が持つ本来の美しさを引き出す自然な仕上がりを実現します。

ヒメクリニックのPRP 2.0は、患者さまの肌の自己治療能力を最大限に引き出し、安全かつ効果的な結果を追求する、先進的な再生医療です。

必要な併用治療を「含める」方針

本当に結果に直結する施術は、追加オプションではなく最初から含める。この考えのもと、必要に応じてショートスレッドリフト（短い糸のリフト）やCO₂レーザー等をプラン内で実施します（適応は診察で判断）。

「何を足すか」を患者さまに選ばせるのではなく、医療側が責任をもって設計します。これは、最良の結果を追求する当院の姿勢の表れです。

PRP治療
再生を促す中心施術



ショートスレッド
支持力とリフト効果を
補強

CO₂レーザー
皮膚再生とテクスチャ
改善



ショートスレッドリフト

短い吸収糸を使用し、皮膚の支持構造を補強します。たるみの改善と組織再生を同時に促します。



CO₂レーザー

微細な孔を開けることで、PRPの浸透を促進し、コラーゲン産生をさらに活性化します。



統合的アプローチ

これらの治療を単独ではなく、PRPと組み合わせることで相乗効果を生み出し、より効果的な結果をもたらします。

施術技術と安全性へのこだわり

当院の施術は、院長が培ってきた**周産期医療・救急医療での豊富な経験と知識**に基づいています。一刻を争う現場で培われた精緻な手技、鋭い観察力、そして迅速な判断力を美容医療に応用し、安全かつ効果的な注入治療を提供します。

特に、血管走行や解剖学的構造への深い理解は、合併症のリスクを最小限に抑える上で不可欠です。顔面の複雑な神経・血管・筋肉の配置を熟知し、**内出血や腫れを極限まで抑える**ための精緻な針さばきと、薬剤注入層の正確な選択を徹底しています。

また、患者さまの表情や皮膚の状態に応じて、部位ごとに「面（スキン）」「線（靱帯）」「ポイント（支点）」という異なるアプローチを使い分けます。これにより、単なるしわの改善に留まらず、顔全体のバランスを考慮した自然で美しい仕上がりを実現します。

万が一の事態に備え、当院は医療機関として**緊急対応体制**を整えています。患者さまの安全を最優先に考え、合併症の予防策の徹底、早期発見のためのきめ細やかなモニタリング、そして迅速な初期対応から高次医療機関への連携まで、万全の準備で臨みます。



詳細な解剖学的理解

顔面解剖の全層（皮膚、脂肪層、筋肉、骨、神経、血管）に精通し、合併症リスクを回避しながら、各部位に最適な注入深さと量を判断します。



高度な層別アプローチ

表皮・真皮層では肌質改善を、皮下組織ではボリューム形成を、骨膜上ではリフトアップを目的とし、狙った層へ正確に薬剤を注入し自然な仕上がりを目指します。



徹底した安全管理と緊急対応

合併症予防のための事前評価、細心の注意を払った手技、異常の早期発見のための観察、そして迅速な緊急処置と高次医療機関との連携体制を確立しています。

料金・プラン内容（総額60万円・税込）

¥600,000

PRP 2.0（2回）

税込総額、追加費用なし

含まれるサービス



初診・診察：詳細なカウンセリングで、お悩みやご要望を丁寧に伺います。



採血：治療に必要な量の血液を採取します。



PRP注入2回：最適化された治療プログラムに基づき、PRPを丁寧に注入します。



効果確認の診察：経過観察とフォローアップを行い、効果をしっかり確認します。



併用施術：必要に応じてショーツレッドリフト・CO₂レーザーなどを併用します。



基本処置・麻酔等：痛みを最小限に抑えるための処置も含まれています。

- ☐ **注意事項：**適応外の追加治療が必要な場合は、診察時に医学的必要性と費用の透明性を説明します。予期せぬ追加費用は発生しません。

適応症状と期待できる変化



しわ・たるみ

額・目元の小じわ、ほうれい線、マリオネットライン、フェイスライン



目元の若返り

上まぶたのゆるみ（軽度の眼瞼下垂含む）、目の下のクマ



首のエイジング

首のたるみ・横じわの改善



毛髪

薄毛・分け目のボリューム改善

質感改善

ハリ・ツヤの向上、毛穴の改善、ニキビ跡・瘢痕の軽減など、肌質全体の底上げが期待できます。

整形外科的応用

筋・腱・関節の痛みの軽減（整形外科領域でのPRPの応用知見に基づく）

- ☐ **効果発現の目安：**数週間～1～2か月でコラーゲン再構築が進むにつれて自然に向上します。個人差がありますので、焦らずお待ちください。

安全性・ダウンタイム・リスク



どのような医療にもリスクは存在します。当院では透明性を持ってリスクをご説明し、患者さまが十分にご理解いただいた上で治療を受けていただくことを重視しています。



ダウンタイム

腫れ・赤み・内出血・圧痛が生じる可能性があります。多くの場合、数日～1週間程度で落ち着きます。



合併症

一時的な左右差・しこり感・違和感・色素沈着（稀）が起こる可能性があります。ほとんどは時間とともに改善します。



アレルギーリスク

自己血由来のためアレルギーや拒絶反応は理論上きわめて少ないですが、効果の程度と持続には個人差があります。

禁忌・注意事項

- 妊娠中・授乳中の方
- 抗凝固薬を内服中の方
- 重篤な基礎疾患をお持ちの方
- 活動性の感染症がある方

個別の状況に応じて慎重に判断します。診察時に詳しくお聞かせください。

よくあるご質問（Q&A）

Q1：ヒアルロン酸やボトックスと何が違いますか？

PRP 2.0は、ご自身の血液から抽出した濃縮血小板を注入し、その中に含まれる豊富な成長因子が皮膚組織の再生を促進する治療です。肌本来のハリ・ツヤ・弾力を取り戻し、小じわ、肌の質感、毛穴の開き、くすみなど、全体的な肌質の底上げを目指す、自然な若返りが特徴です。

一方、ヒアルロン酸はボリュームを「足す」ことで、ほうれい線やマリオネットラインの溝を埋めたり、唇や顎の形を整えたりする物理的なアプローチです。即効性がありますが、効果は数ヶ月～1年程度で体内に吸収されます。

ボトックスは表情筋の動きを一時的に「抑える」ことで、額や眉間、目尻の表情じわを軽減する治療です。効果は3～6ヶ月程度持続します。

PRP 2.0とこれらの治療は目的が異なるため、それぞれ単独でも効果的ですが、肌質の根本改善と合わせて特定の部位のボリュームアップやシワの解消を同時に行いたい場合など、併用することで相乗効果を期待でき、より総合的なエイジングケアが可能です。

Q2：1回でも効果はありますか？また、どのくらい持続しますか？

PRP 2.0はご自身の細胞の活性化を促す治療であるため、効果は徐々に現れ、時間とともに肌の中で成熟していきます。多くの方が1回の施術でも肌のキメやハリ感に変化を感じられる場合があります。

しかし、より確実に持続的な効果を得るためには、通常1ヶ月～3ヶ月の間隔で2～3回の施術を推奨しています。特に初期の治療で複数回行うことで、細胞の再生サイクルを効果的にサポートし、自然で長期的な改善を目指すことができます。

効果の持続期間は個人差がありますが、一般的には1年～1年半程度と言われています。効果を維持するためには、1年に1回程度のメンテナンス施術を検討される方もいらっしゃると思います。患者様の肌の状態や目標に合わせて、最適な治療計画をご提案させていただきます。

Q3：治療は痛いですか？ダウンタイムはどれくらいですか？

施術部位には事前に麻酔クリームを塗布し、極細の針を使用するため、痛みを最小限に抑えるよう配慮しています。注入時はチクとした感覚や、薬剤が入る際の圧迫感を伴うことがあります。

ダウンタイムは、個人差はありますが、一般的に数日～1週間程度です。主な症状としては、注入部位の軽度な腫れ、赤み、内出血、圧痛などが挙げられます。内出血が出た場合でも、メイクで隠せる程度で、時間の経過とともに自然に改善します。

施術直後からメイクや洗顔は可能ですが、激しい運動や飲酒、長時間の入浴は2～3日間お控えいただくようお願いしております。詳細は施術後のケアについて詳しくご説明いたします。

Q4：費用対効果について教えてください。

PRP 2.0は、ご自身の血液を使用し、肌本来の再生能力を引き出す根本的な治療であるため、一時的な対処療法とは異なり、肌そのものの若返りを目指します。

ヒアルロン酸やボトックスは定期的な注入が必要であり、その都度費用がかかりますが、PRP 2.0は一度効果が発現すると比較的長期間持続するため、長期的に見るとコストパフォーマンスが高いと感じられる方も多くいらっしゃいます。肌質の改善やエイジングケアに対する満足度が高く、自然な仕上がりを求める方にとっては非常に価値のある選択肢となるでしょう。

当院では、患者様のご予算やご希望に合わせて、最適な治療プランと費用について丁寧にカウンセリングさせていただきます。

よくあるご質問（Q&A） 続き

Q5：上清液やエクソソーム点滴は行っていますか？他院との違いは？

当院では、患者様の安全と有効性が科学的に確立された医療を提供することを最優先しております。現在、厚生労働省の周知および監視指導に基づき、**医薬品として承認された「エクソソーム製剤」は存在せず、「エクソソーム試薬」を治療目的で使用する**ことや、その効果を標榜することに対しては、非常に**厳しい注意喚起**がなされています。

これらの未承認製剤や試薬を用いた治療は、有効性や安全性が十分に検証されていないため、予期せぬ健康被害のリスクが懸念されます。当院では、このような状況を踏まえ、現時点では上清液やエクソソーム点滴等の治療は行っておりません。これから、科学的根拠に基づき、安全で信頼性の高い治療のみを提供してまいります。

Q6：PRP治療は法的に大丈夫ですか？また、当院のPRPが安全な理由は何ですか？

PRP（多血小板血漿）を用いた治療は、「**再生医療等安全性確保法**」に基づき、適正に運用される医療行為です。この法律は、再生医療の安全性を確保し、国民の健康を守るために制定されました。

当院のPRP 2.0治療は、厚生労働省に「**第三種再生医療等提供計画**」として申請・受理され、**提供計画番号PC4230007**を取得しています。これは、治療内容、使用する医療機器、医師の経験・技量、緊急時の対応など、多岐にわたる項目について厳格な審査を受け、国の定める安全基準および倫理的基準を満たしていることを示しています。

患者様は、この提供計画番号があることで、適法かつ安全性が確保された環境下で治療を受けられることをご安心いただけます。私たちは、常に法令を遵守し、最高水準の安全性と品質を提供することをお約束します。

Q7：PRP 2.0に年齢制限はありますか？

PRP 2.0治療に厳密な年齢上限はございませんが、**効果には個人差**があります。この治療は、ご自身の血液から抽出した成長因子を利用して、肌本来の再生能力を引き出すものです。そのため、体内の細胞が活性化しやすい年齢層の方がより高い効果を実感しやすい傾向にあります。

一般的に、若年層の方には肌質の改善やエイジングケアの予防として、また中年層以降の方には、加齢による肌の悩み（小じわ、ハリの低下、くすみなど）に対する根本的な改善を目指す治療として適しています。患者様一人ひとりの健康状態、肌の状態、期待される効果を詳しくカウンセリングさせていただき、最適な治療計画をご提案いたしますので、まずはご相談ください。

Q8：他院のPRP治療や「高濃度PRP」とどう違うのですか？

当院のPRP 2.0は、従来のPRP治療や、単に血小板濃度が高いと謳われる「高濃度PRP」とは一線を画しています。PRP 2.0では、血小板の濃度だけでなく、**肌の再生に特に有効な成長因子を最大限に引き出し、かつ赤血球など不要な成分を極限まで除去する**独自の精製プロセスを採用しています。

これにより、従来のPRPと比較して、成長因子がより効率的に肌組織へ届けられ、炎症反応を抑えつつ、より強力で持続的な細胞再生効果が期待できます。また、当院では、患者様一人ひとりの肌質や悩みに合わせて、注入量や注入部位を細かく調整する**オーダーメイドの治療計画**を重視しており、経験豊富な医師が施術を行います。単に高濃度だけでなく、「質の高い成長因子」と「適切な治療計画」がPRP 2.0の大きな特徴であり、他院との決定的な違いです。

用語解説（まとめ）

PRP（多血小板血漿）

PRPは「Platelet-Rich Plasma（多血小板血漿）」の略で、**患者様ご自身の血液**から遠心分離によって血小板を濃縮して作られる液体成分です。この血小板には、**組織の修復や細胞の成長を促す「成長因子」**が豊富に含まれています。ご自身の血液を使用するため、アレルギー反応や拒絶反応のリスクが非常に低いのが特徴です。

【当院での位置づけ】

PRP治療は、当院の美容皮膚科における主要な再生医療の一つです。特に**PRP 2.0**では、独自の精製技術で成長因子を最大限に引き出し、肌のハリや弾力、小じわの改善など、自然な若返り効果を目指します。

CPC（細胞加工施設）

CPCは「Cell Processing Center（細胞加工施設）」の略で、**再生医療で使用する細胞や組織を、厳格な衛生管理のもとで加工・培養するための専門施設**です。空気中の微粒子や微生物が厳しく管理されたクリーンな環境で、医療材料の汚染を防ぎ、品質を一定に保つ役割を担っています。

【当院との関連】

PRPの品質と安全性を確保するために、当院は**高度な基準を満たしたCPCと連携**しています。これにより、PRPが常に無菌的で、効果を最大限に引き出せる状態で提供され、患者様により安全で質の高い治療をお届けできます。

上清液

「上清液（じょうせいえき）」とは、幹細胞を培養した際に得られる培養液の**上澄み部分**を指します。幹細胞自体は含まれず、幹細胞が分泌した成長因子やサイトカインなどの成分が溶け込んでいます。

【当院での見解と対応】

現時点では、厚生労働省から**医薬品としての承認を受けた上清液は存在しません**。有効性や安全性が十分に検証されていないため、当院では患者様の安全を最優先し、**上清液を用いた治療は一切行っておりません**。科学的根拠に基づいた、承認済みの治療のみを提供しております。

エクソソーム

エクソソームは、細胞から分泌される**ごく小さなカプセル状の物質**で、細胞間の情報伝達に関わると考えられています。様々な成分（タンパク質、核酸など）を含み、再生医療分野で研究が進められている注目の存在です。

【当院での見解と対応】

エクソソームもまた、**医薬品として厚生労働省の承認を受けた製剤は存在しません**。現在、「エクソソーム試薬」を治療目的で使うことや、その効果を謳うことに対しては、国から**非常に厳しい注意喚起**がなされています。安全性や有効性が確立されていない治療による健康被害のリスクを鑑み、当院では**エクソソーム点滴等の治療は実施しておりません**。

第三種再生医療

「第三種再生医療」とは、「**再生医療等安全性確保法**」という法律に基づき、**比較的风险が低いと分類される再生医療**を指します。PRP治療など、患者様ご自身の細胞を使用する治療の多くがこれに該当します。この分類の治療を行うには、**厚生労働省に治療計画を申請し、厳格な審査を経て受理される**必要があります。

【当院での位置づけ】

当院のPRP 2.0治療は、この法律に基づき、**厚生労働省に「第三種再生医療等提供計画」として申請・受理されており、提供計画番号（PC4230007）を取得**しています。これは、当院の治療が国の定める安全基準と倫理的基準を満たしていることの証明であり、患者様が安心して治療を受けられるための重要な保証です。

監修・責任表示



HIME CLINIC（ヒメクリニック）

院長：武藤ひめ

第三種再生医療等提供計画番号：PC4230007（PRP）

加工体制

RCFT（ロートグループ）CPCに加工委託（PRPアウトソーシング）

厳格な品質管理のもと、安全で安定したPRP治療を提供しています。

透明性へのコミットメント

当院は、すべての治療において法令遵守、科学的根拠、患者さまへの誠実な説明を最優先とします。ご不明な点がございましたら、いつでもお気軽にお問い合わせください。